

科目名	日本語学史1～2
授業の目標・ねらい	日本語研究の歴史を通し、日本語学をより深く理解することを目指します。日本語学(国語学)には、長い歴史の蓄積があります。その中における重要な研究成果を概観することで、現代日本語についても理解を深めていきたいと考えています。
授業内容・授業方法	日本語学史における重要な研究成果について学びます。また、その研究が現代の日本語にどうかかわっているかについても学びます。 1回目:音韻研究、仮名遣研究 2回目:文法研究、語彙研究、その他の研究
予習・復習	予習・復習: 日本語学(音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論、等)の基礎的な概念について、復習しておく、と、授業が分かりやすくなると思います。授業後も、関連する現代日本語の内容と結びつけて、理解を深めてください。
使用テキスト	
参考書等	
講師名	世良時子
所属	上智大学言語教育研究センター
研究分野	日本語教育・日本語学
講師紹介	日本語教育では、話すことやそれに関わることを学ぶ/教えること、いかに主体的に学ぶかということに興味を持っています。また、日本語の習得に関わる音声・音韻や文法の研究もしています。